



2023年3月31日

各位



太陽紙工株式会社とのポジティブインパクトファイナンス契約の締結について

株式会社十六銀行（頭取 石黒 明秀、以下「当行」といいます。）および株式会社十六総合研究所（社長 高橋 義信、以下「当社」といいます。）は、太陽紙工株式会社（代表取締役 佐竹 重信）とポジティブインパクトファイナンス（以下「PIF」といいます。）契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

PIFは、当行および当社にて、事業者さまの活動が外部（環境・社会・経済）に与えるインパクト（影響）を評価（特定・分析）し、ポジティブなインパクトの創出とネガティブなインパクトの低減に資するKPIを設定のうえ、定期的なモニタリングを通じてその達成に向けた取組みを支援していくことを目的とする資金調達手段です。

当行および当社は、PIFを通じて事業者さまと共通価値の創造をはかり、ともに持続的な成長を目指してまいります。

記






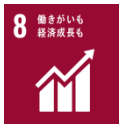

1. PIF契約概要

コース	ローンコース
融資金額	50百万円
資金使途	運転資金
期間	7年

2. 企業概要

所在地	岐阜県養老郡養老町蛇持141
事業内容	産業用資材、物流資材、商品容器の製造・販売など
設立	1971年6月
資本金	12百万円

3. インパクト評価（要旨） ※ 詳細は後掲の「評価書」をご参照ください。

特定インパクト	K P I	関連SDG s
環境に配慮した製品・サービスの展開	・ 年間5件以上の新商品を開発する。	 
環境に配慮した事業活動	・ 2030年度における温室効果ガス排出量（Scope 1, 2）を2022年度実績より42%削減する。	 
女性活躍の推進	・ 2030年度における全管理職に占める女性管理職の割合を50%以上とする。	 
安全・安心な労働環境の整備	・ 年2回の「環境整備」を継続して実施する。	

以 上

【本件ご照会先：経営企画部 広報・IR室 TEL 058-266-2511】

太陽紙工株式会社
ポジティブインパクトファイナンス評価書

2023年3月31日



十六総合研究所は、十六銀行が太陽紙工株式会社（以下、「太陽紙工」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクトおよびネガティブインパクト）を分析・評価した。この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、十六総合研究所が十六銀行と共同で開発した評価体系に基づいている。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

目次

1. 企業概要と理念、サステナビリティ	- 3 -
(1)太陽紙工の概要ならびに経営理念.....	- 3 -
(2)太陽紙工のサステナビリティ.....	- 6 -
2. インパクトの特定	- 9 -
(1)事業性評価	- 9 -
(2)バリューチェーン分析.....	- 10 -
(3)インパクトレーダーによるマッピング	- 11 -
(4)特定したインパクト	- 13 -
(5)インパクトニーズの確認	- 17 -
(6)ポジティブインパクトに対する追加性、十六銀行との方向性の確認.....	- 19 -
3. インパクトの評価	- 20 -
4. モニタリング	- 23 -
(1)太陽紙工におけるインパクトの管理体制	- 23 -
(2)当社によるモニタリング	- 23 -

1. 企業概要と理念、サステナビリティ

(1)太陽紙工の概要ならびに経営理念

【企業概要】

企業名	太陽紙工株式会社
所在地	岐阜県養老郡養老町蛇持 141
代表者	代表取締役 佐竹 重信
設立	1971年6月
資本金	12百万円
売上高	5.1億円(2022年7月期)
従業員数	42名(2022年7月時点)
事業内容	産業用資材、物流資材、商品容器の製造・販売など
取扱製品	段ボール、紙梱包材、紙器、その他

【企業沿革】

1970年	段ボール加工事業者として個人創業
1971年6月	法人成りにより同社を設立

太陽紙工は紙素材の梱包製品の製造を主業としており、紙の特性を活かしながら様々な状況に対応できる製品を手掛けている。「輸送時の無駄な梱包をなくしたい」「複雑な形状でも安価に梱包したい」「省スペース化したい」「必要な分だけ手軽に使いたい」など、同社に寄せられる様々なニーズに対して、新製品の開発や解決策としての提案活動を行っている。

具体的には、「梱包資材」「工業サポート製品」「紙器」「店頭用什器」など、幅広い用途や目的に応じて製品やサービスを提供している。

「梱包資材」

PPバンド接触部分や製品の各コーナー部分を保護する「EZ アングルシリーズ」、製品の各コーナー部分の保護や支柱材として使用される「EZL アングルシリーズ」など、「これまでの梱包・輸送の常識を覆す、ありそうでなかった梱包資材」をテーマに、様々な製品を展開している。「EZ アングルシリーズ」は、等間隔にミシン目加工が施されており、必要な箇所に必要な分だけ使用することができる。また、ミシン目ははさみやカッターを使うことなく手で簡単に切り離しが可能である。

●EZ アングルシリーズ



(出所：同社より提供)

「工業サポート製品」

一般的に木材が使用されることの多い工業用パレットの素材に段ボールを採用した「EZ パレットシリーズ」や、車輪の下に敷くことで荷物や人の安全を守る「EZ コロストップ」など、軽量かつ強度のある「段ボールと紙板」を組み合わせた、生産性向上や経費節約に資する多数の製品をラインナップしている。

●EZ パレットシリーズ



(出所：同社 HP)

●EZ コロストップ



(出所：同社 HP)



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

「紙器」

一般的なコートボール紙の他、厚いものは段ボール貼合や数mm厚のチップボール、薄いものは不織布に至るまで広範囲な部材に対して、型抜き・接着の一貫加工を行っている。



(出所：同社 HP)

「店頭用什器」

器具の素材や強度のみならず、顧客の販売促進ニーズに応じて、店頭用什器のデザイン・形状についても企画・設計・製造まで手掛けている。



(出所：同社 HP)

同社では下記の「経営理念」、「行動指針」、「七精神」を掲げ、単純な紙製品の量産販売ではなく、梱包・運搬・展示・デザインといった素材としての「紙の可能性」を追求し、さらなる加工技術の向上と新製品やサービスの展開に努めている。

「経営理念」

私たちの生きるみち

トムソン技術で、お客様にお応えする。

まごころ対応で、お客様を笑顔にする。

お客様の笑顔が、私たちの幸せです。

「行動指針」(同社HPより)

一、お客様の信頼に応える製品造りを目指し、日ごろから研究心を持ち、品質向上に努める。

一、何事にも創意と工夫を積み重ね、合理化と効率化を常に探求する企業をめざす。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

- 一、すべての社員が、自らの仕事に誇りを持てる活力ある企業づくり。
- 一、すぐ行動、必ず実行、最後まで責任感あふれる、社員の養成。
- 一、お客様の話を最後まで聞き、明るく、正しい言葉づかいで、お客様の悩みを解決する。

「七精神」

- 一、脱皮の精神 「一日一日生まれ変わろう」
- 二、メイアイヘルプユーの精神 「多角的にお役にたとう」
- 三、ファミリーの精神 「運命共同体でゆこう」
- 四、喜びの取引の精神 「利益は喜ばれた結果」
- 五、変化対応の精神 「お客様市場のニーズを知ろう」
- 六、可能性追求の精神 「とどまることは退歩である」
- 七、人材育成の精神 「後継者をそだてよう」

(2)太陽紙工のサステナビリティ

同社は下記の「当社の想い」を自社 HP に掲載し、再生が容易であり環境負荷の低減に資する「紙製品の可能性」に着目した事業活動に注力している。

「当社の想い」(同社HPより)

毎日の暮らしを支える様々な工業製品は、品質、納期、コストで管理されながら、日々生産されています。さらに、今日では環境負荷の低減が企業に課せられた責任となりました。

「紙」のもつ本質、それは強いが故に高い品質を約束し、しなやかであるが故に納期・コストの優位性を実現し、再生しやすいがために環境負荷を低減することができます。

「紙」のもつこのような可能性に向き合うとき、それをどのようにしてカタチにするのか、私たちはそのすべを探求する旅を続けて来ました。

そしてこの旅は今でも続いています。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

また、2022年4月には下記の「SDGs 行動宣言」を掲げ、「環境に配慮した製品・サービスの展開」「働きがいのある仕事」「健康経営の促進」の3つの側面から、様々な取組みを行っている。

【太陽紙工のSDGs 行動宣言（同社提供資料を基に十六総研にて作成）】

<p>環境に配慮した製品・サービスの展開</p>	<p><SDGs 達成に向けた取組み> 環境配慮型商品やサービスの開発・販売を促進していきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> </div>
<p>働きがいのある仕事</p>	<p><SDGs 達成に向けた取組み> 研修や社員教育を通じ、従業員の自己開発及び能力開発の向上をサポートします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育をみんなに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> </div> </div>
<p>健康経営の促進</p>	<p><SDGs 達成に向けた取組み> 多様な人材が能力と個性を活かし、全ての従業員が生き生きとやりがいをもって働くことができる職場環境づくりを進めています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div> </div>

また、下記の通り従業員の福利厚生も充実させ、「働きがいのある仕事」「健康経営の促進」に向けて日々尽力している。

「太陽紙工の福利厚生」（同社HPをもとに十六総研にて作成）

・女性活躍

男性社会のイメージが強い製造業界にあって、同社社員42名のうち過半数（23名）を女性が占める。子どもの急病で突然休まなければならない状況など、現場社員の理解と、許容し合う社風が醸成されており、従業員全体で女性の活躍を推進している。

・サンクスカード

業務のなかで感謝を表す習慣として「サンクスカード」というメッセージカードを社員同士で贈り合っている。紙を扱う会社らしい取り組みであり、風通しのよい雰囲気づくりと、お互い褒め合う（加点）文化にもつながっている。

・社外セミナー

役職者向けのリーダーシップ研修や、一般教養に関するセミナーなど、社外セミナーに積極的に参加している。業務に関する知識・技術だけでなく、社会人としての成長や人間力の向上にも重点を置いている。

・表彰制度

結果や頑張りに応じて表彰制度を設けており、個の目標達成や自己研鑽を社内周知することにより社員の士気を高めている。

・社内イベントの充実

他部署間の人的交流やコミュニケーションの活性化を目的とした社内イベントを企画し開催している。

・コミュニケーションツールの導入

社内に専門家を配置し、社員各人が自身を理解し働きやすい職場づくりを目指している。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

2. インパクトの特定

(1)事業性評価

同社事業の強みとして、顧客のニーズに対応した製品企画力に加えて、その企画やアイデアを具現化することができる充実した設備と技術力が挙げられる。

主力設備である油圧式裁断機をはじめ、自動平盤打抜機や油圧式型抜機、グルアーなど、多種多様な加工機械を保有しており、0.1 mmの薄紙から4 mmに達する厚紙まで幅広く加工することができる。

同社はこれらの充実した設備により、梱包の無駄を削減する製品やスペースの節約に資する製品、特注の梱包材など、顧客の課題を汲み取り、これを解決する製品を、企画・製造することができる。

例えば、同社の「EZ パレットシリーズ」は桁を折り畳むことで、一般的な工業用パレットと比較して保管スペースを約6割節約することに成功。また、全面耐荷重が2t以上あるほか、耐水仕様のオプション設定など、紙製品でありながら高い耐久性を実現している。なお、同社の耐水パレットは【実用新案 第3221149号】に登録されている。

加えて、同社製品のほとんどが古紙としてリサイクルすることが可能であり、バリューチェーンとしての環境負荷軽減にも貢献している。

●油圧式裁断機



(出所：同社 HP)

●EZ“耐水”パレット



(出所：同社 HP)



人と、地域と、未来をむすぶ

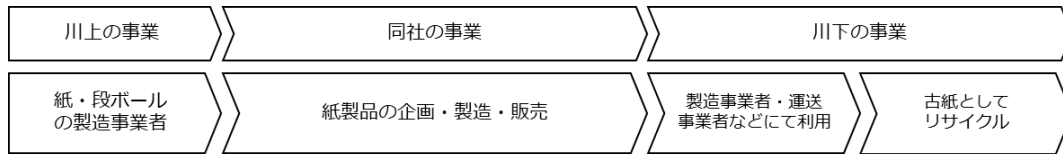
十六総合研究所

(2)バリューチェーン分析

同社は、製品バリューチェーンの中で、紙製品の「企画」「製造」「販売」などの役割を担っている。紙や段ボール等を仕入れ、川下となる産業に対し省スペースや経費節約に資する製品を販売することで、付加価値をもたらしていると考えられる。

また、同社の製品は最終的に古紙としてリサイクルすることができるため、川下の産業から生じる環境負荷の低減にも寄与している。

●バリューチェーン図



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

(3)インパクトレーダーによるマッピング

先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。

同社並びに同社の川下の事業を国際産業標準分類（ISIC）上の業種カテゴリに適用させた上、UNEP FIが提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」（以下 PI）と「ネガティブインパクト」（以下 NI）を想定する。

同社並びに川上の事業について「段ボール及び板紙並びに紙製・板紙製容器製造業（ISIC:1702）」を適用し、発生するインパクトの検証を行った。

◎：主要カテゴリ ○：関連カテゴリ

国際産業標準分類 インパクトカテゴリ	川上の事業 【1702】 段ボール及び板紙並びに紙製・ 板紙製容器製造業		同社の事業 【1702】 段ボール及び板紙並びに紙製・ 板紙製容器製造業	
	PI	NI	PI	NI
	水			
食料				
住居				
健康・衛生				
教育				
雇用	○	○	○	○
エネルギー				
移動手段				
情報				
文化・伝統				
人格と人の安全保障				
正義・公正				
強固な制度・平和・安定				
水（質）		◎		◎
大気		○		○
土壌				
生物多様性と生態系サービス				
資源効率・安全性		○		○
気候		○		○
廃棄物		◎		◎
包括的で健全な経済	○		○	
経済収束				



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

【同社並びに川上の事業について】

「雇用」のカテゴリにおいては、従業員の雇用が創出されるという PI と、労働形態によっては労働者の健康が脅かされるという NI が発現する。

また、同社は全社をあげて女性活躍を支援しており、インパクトレーダー上の指摘こそないものの、雇用面にポジティブな影響を及ぼしているものと考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「8.5:雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」
- ・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」
- ・「5.5:政治、経済、公共分野での意思決定において、女性の参画と平等なリーダーシップの機会を確保する」

「水（質）」「大気」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」のカテゴリにおいては、同社の製品加工に伴う水質汚染や大気汚染、過度なエネルギー使用、温室効果ガスの排出、廃棄物の発生や、機械の老朽化に伴う廃棄物の発生等の NI が発現すると指摘される。

同社内では近年温室効果ガスの排出量の測定を開始し、排出量の削減活動に努めることでの環境負荷に努める方針としている。

また、川上における紙の製造に伴い「水（質）」や「廃棄物」等のカテゴリにおいて重大な NI の発現が指摘されるが、同社は事業活動で生じる廃棄物の適切な管理に努めるほか、紙可能性に追求したりサイクル可能な製品を供給し、バリューチェーン全体での環境負荷の低減に努める方針である。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「6.3:汚染の減少、投棄廃絶と有害な化学物質や物質の放出の最小化等により、水質を改善する」
- ・「7.3:エネルギー効率の改善率を増やす」
- ・「12.5:廃棄物の発生を減らす」
- ・「13.3:気候変動対策に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する」
- ・「15.1:陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する」

「包括的で健全な経済」のカテゴリにおいては、同社の事業活動によって、川下産業の事業活動が支えられるという PI が発現すると指摘される。また、インパクトマッピング上での直接の指摘はないものの、同社の製品により川下産業の生産性の向上や資源リサイクルの効率化にも寄与していると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「9.4:資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大により持続可能性を向上させる」



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

【川下の事業について】

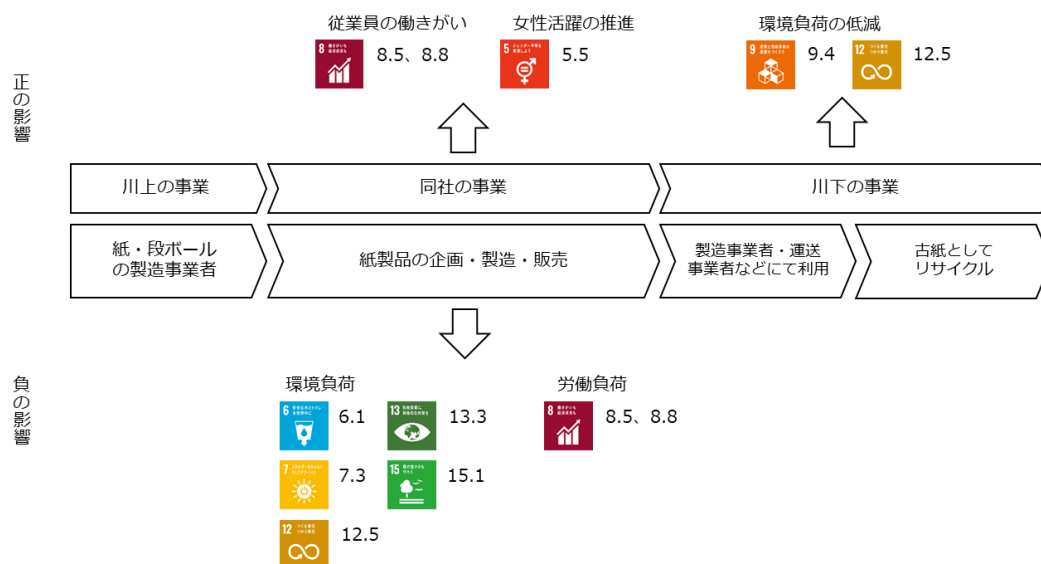
インパクトマッピング上での直接の指摘はないものの、同社製品は古紙としてリサイクルすることができるため、川下産業での「廃棄物」のカテゴリにおいて、PI の拡大に寄与していると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「12.5:廃棄物の発生を減らす」

(4)特定したインパクト

下図は「バリューチェーン分析」「インパクトマッピング」の結果を踏まえて、同社のバリューチェーンが与えるインパクトを可視化したものである。



- 環境に配慮した製品・サービスの展開
- 環境に配慮した事業活動
- 女性活躍の推進
- 安全・安心な労働環境の整備

■ 環境に配慮した製品・サービスの展開

同社では紙の特性を活かした製品を展開し、取引先の生産効率の向上・環境負荷の低減に貢献してきた。

例えば、工場内で資材や機械を運搬するための木製パレットは、一定の高さとスペースを必要とするが、同社製品の「EZ パレット」は約 25 mm の厚さにまで折り畳むことが可能であり、設置・保管場所の省スペース化に貢献している。また、木製パレットは産業用廃棄物として処分する必要があるところ、同社の EZ パレットは古紙リサイクルが可能であり、処分の手間と環境負荷の低減にも貢献している。耐圧性能も 3t 以上を誇り、工場現場内で求められる必要十分な耐久性を有している。

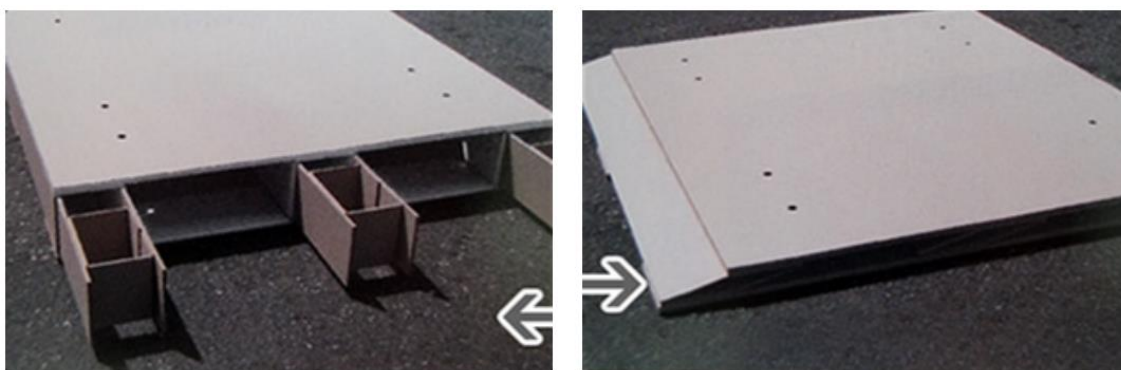
同社はその他にも、段ボール製のコロナガードや、紙製ハンガーや段ボール製のベッド、段ボール製のイス・テーブルなどユニークかつ環境負荷の少ない製品を多数生み出しており、今後も、取引先のニーズに対応する製品を開発していく方針としている。

このインパクトは UNEP FI のインパクトレダーでは、「廃棄物」「包括的で健全な経済」のカテゴリに該当し、環境的・経済的側面において PI を拡大すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「9.4: 資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大により持続可能性を向上させる」
- ・「12.5: 廃棄物の発生を減らす」

● EZ パレット



(出所：同社 HP)

● 段ボール製のテーブルとイス



(出所：同社 HP)

■ 環境に配慮した事業活動

同社では、2022 年度より自社事業から生じる温室効果ガスの排出量の測定、および、排出量の削減に向けた取組みを開始している。

具体的には、設備更新の際に省エネ効果の高い設備を積極的に導入すること、工場屋根に太陽光パネルを設置すること、営業車両を順次ハイブリッド車にシフトするなどの取組みを行っている。

同社では、今後もこうした活動を継続し、事業活動から生じる温室効果ガスの排出量の削減に努めていく方針としている。

このインパクトは UNEP FI のインパクトリーダーでは、「資源効率・安全性」「気候」のカテゴリに該当し、環境的側面において NI を緩和すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「7.3:エネルギー効率の改善率を増やす」
- ・「13.3:気候変動対策に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する」

■ 女性活躍の推進

同社では、人的投資として、とりわけ女性従業員のスキルアップと働きやすい環境整備に積極的に取り組んでいる。

同社には子育てを経験している女性従業員が数多く在籍しているが、これは同社の利益の源泉がデザインを含む商品企画力にあると捉えており、多様な人材と働き方を受け入れることが、ひいてはクリエイティブかつ持続的な経営に繋がるものとの考えに基づいている。このため、予め余裕を持った人員配置を行い、従業員が子どもの急病により欠勤を余儀なくされても、職場全体で許容し助け合う雰囲気醸成されている。

同社では、今後も女性が活躍しやすい職場環境の整備に努めていく方針としている。

このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは、「雇用」のカテゴリに該当し、社会的側面において PI を拡大すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「5.5:政治、経済、公共分野での意思決定において、女性の参画と平等なリーダーシップの機会を確保する」
- ・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」

■ 安全・安心な労働環境の整備

同社では工場内の 5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を徹底し、全ての従業員が安全・安心に働くことができる環境の整備に努めている。

外部の専門家を招いて 5S についての講習を毎月開催し、半年に一度の割合でその成果についての振り返りと環境整備を行い、5S の徹底と恒常的な改善に努めている。

このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは、「雇用」のカテゴリに該当し、社会的側面において NI を緩和すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

(5)インパクトニーズの確認

①日本におけるインパクトニーズ

同社の売上高の大半が日本国内におけるものである。国内における SDG インデックス& ダッシュボードを参照し、そのインパクトニーズと同社のインパクトとの関係性を確認した。

本 PIF において特定したインパクトに対応する SDGs のゴールは、以下の 8 点である。

- ・「5:ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」
- ・「7:すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」
- ・「8:包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する」
- ・「9:強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」
- ・「12:持続可能な生産消費形態を確保する」
- ・「13:気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」

国内における SDG ダッシュボード上では、「5」「12」「13」に関しては「大きな課題が残る」、「7」に関しては「重要な課題が残る」、「8」に関しては「課題が残る」とされており、同社が環境に配慮した製品を展開することや女性活躍を支援すること等の取組みが、国内のインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。



(出所：SDSN)

②岐阜県におけるインパクトニーズ

また、同社の事業活動が地元岐阜県を中心として行われているため、「岐阜県 SDGs 未来都市計画」を参照し、岐阜県内における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

下記のとおり、岐阜県は「豊かな自然との共生による地域づくり」「県民所得の向上と技術革新への対応」「人口減少・少子高齢化に伴う担い手の確保」を SDGs 達成に向けての課題とするなか、同社が環境に配慮した製品を展開することや女性活躍を支援すること等の取組みが、岐阜県におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

「岐阜県 SDGs 未来都市計画」より今後取り組む課題を抜粋

1. 環境：豊かな自然との共生による地域づくり

- 地球温暖化対策や気候変動適応対策の推進
- プラスチックごみ対策の推進や食品廃棄物対策の推進
- 豊かな自然環境の保全と利用
- 「長良川システム」の持続的な発展に向けた取組み
- 「常態化する想定外」の災害への備えの推進

2. 経済：県民所得の向上と技術革新への対応

- 各政策分野における IoT やビッグデータ、AI の活用など、Society5.0 の実現による新たな付加価値の創出と県民所得の向上
- 本県出身の外交官「杉原千畝」氏をテーマとした人道観光や中部山岳国立公園の魅力増進など、歴史・文化、自然、産業といったテーマ性を持った旅行商品の造成と、その魅力の国内外への発信、競争力の高い観光地域づくり等による観光の基幹産業化

3. 社会：人口減少・少子高齢化に伴う担い手の確保

- 性差、障がいの有無、国籍、年齢等に関わらず誰もが活躍できる社会の確立
- 小・中学校に加え、全ての高等学校における教育段階に応じたふるさと教育の展開



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

(6)ポジティブインパクトに対する追加性、十六銀行との方向性の確認

ここでは特定した PI について追加性があること、十六銀行の SDGs の取組みと方向性が同じであることを確認する。本 PIF で特定した PI は「環境に配慮した製品・サービスの展開」「女性活躍の推進」の 2 点である。

「環境に配慮した製品・サービスの展開」については、紙の可能性を追求した環境負荷の少ない製品の展開に努めていく。

「女性活躍の推進」については、女性が活躍できる環境の整備とキャリアアップ支援に努めていく。

以上から、上記の PI は SDGs を達成するために、効果が期待できる取組みであり、追加性があるものと評価できる。

十六フィナンシャルグループでは、「十六フィナンシャルグループ SDGs 宣言」の中で「地域社会の活性化」「地域社会の持続的発展」「多様な人材の活躍推進」「環境保全と気候変動対策」「ガバナンスの高度化」の 5 つを SDGs 達成に向けた重点課題（マテリアリティ）としている。

本 PIF で特定したインパクトは「環境に配慮した製品・サービスの展開」については「環境保全と気候変動対策」と、「女性活躍の推進」については「多様な人材の活躍推進」と、それぞれ方向性が一致する。

以上から、本 PIF の取組みは追加性のある PI 創出支援を行うものであり、その本源的目的との合致を確認したうえで SDGs 達成に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることを目指すものである。





人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、先に特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する。

■ 環境に配慮した製品・サービスの展開

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてポジティブインパクトを拡大 経済的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクト・カテゴリ	「廃棄物」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・環境配慮型商品やサービスの開発・販売を促進する。
KPI	・年間 5 件以上の新商品を開発する。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

■ 環境に配慮した事業活動

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクト・カテゴリ	「資源効率・安全性」「気候」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・自社の事業活動より生じる温室効果ガス排出量を削減する。
KPI	・2030 年度における温室効果ガス排出量（Scope1,2）を 2022 年度実績より 42%削減する。

■ 女性活躍の推進

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクト・カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・女性のキャリアアップを支援する。
KPI	・2030 年度における全管理職に占める女性管理職の割合を 50% 以上とする。

■ 安全・安心な労働環境の整備

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクト・カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・全ての従業員が安全に働くことができる職場環境を整備する。
KPI	・年 2 回の「環境整備」を継続して実施する。

4. モニタリング

(1)太陽紙工におけるインパクトの管理体制

同社では佐竹室長を中心に自社業務の棚卸を行い、本 PIF におけるインパクトの特定並びに KPI の策定を行った。

今後についても、佐竹室長を中心に SDGs の推進、ならびに本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

【モニタリング体制】

統括責任者	代表取締役 佐竹 重信
プロジェクトリーダー	管理室 室長 佐竹 ゆかり

(2)当社によるモニタリング

本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と十六銀行、十六総合研究所の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、十六総合研究所が現時点で入手可能な公開情報、太陽紙工から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 十六総合研究所が本評価に際して用いた情報は、十六総合研究所がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。十六総合研究所は、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は十六総合研究所に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所